

目標の柱	4	次世代の地域を担う人材の育成
基本目標(政策)	4-2	文化財の保護と活用を図ります
基本計画(施策)	4-2-1	・貴重な自然遺産と文化の保存・伝承

主管課・係	課	係
	生涯学習課	文化財係
関係課・係	教育委員会分室	生涯学習係
	奥会津博物館	事業係

**【施策の目的と取組・現状分析】**

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①無形民俗文化財の継承団体が将来にわたって地域の民俗芸能を保存、伝承していく。 ②町民が自然遺産や町の文化財、伝統芸能に対する知識と興味関心を持つ。 ③町の文化財が適切に保存伝承されている。</p>																																																																	
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①無形民俗文化財の継承団体の維持。 ②奥会津博物館の入館者数の増加。 ③文化財の調査研究と町文化財としての適切な指定と保存。</p>																																																																	
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">無形民俗文化財の継承団体数</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>無形民俗文化財の継承団体数</td> <td>団体</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>奥会津博物館入館者数</td> <td>人</td> <td>4,089</td> <td>※3,000</td> <td>2,629</td> <td>5,000</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>D</td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	A	無形民俗文化財の継承団体数	単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A	無形民俗文化財の継承団体数	団体	16	13	13	13	16	B	奥会津博物館入館者数	人	4,089	※3,000	2,629	5,000	8,000	C								D								<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>③ ほぼ目標値どおり 後継者不足が懸念される状況は継続しているが、伝統芸能活性化実行委員会での働きかけにより、現状維持できている。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>現在の活動を継続していくことを目標としているが、後継者不足により活動を休止した団体が出てしまった。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>④ 下回った 新型コロナ感染拡大に伴う入館者減少及び緊急事態宣言による開館日数減。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>実施可能な見学方法の模索や体験メニューを充実させ、年間を通しての施設利用を図る。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>D</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A	③ ほぼ目標値どおり 後継者不足が懸念される状況は継続しているが、伝統芸能活性化実行委員会での働きかけにより、現状維持できている。	④ 達成は困難	現在の活動を継続していくことを目標としているが、後継者不足により活動を休止した団体が出てしまった。	B	④ 下回った 新型コロナ感染拡大に伴う入館者減少及び緊急事態宣言による開館日数減。	③ 取組改善で達成可能	実施可能な見学方法の模索や体験メニューを充実させ、年間を通しての施設利用を図る。	C				D			
A				無形民俗文化財の継承団体数	単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度																																																								
	実績値	目標値	実績値			目標値	目標値																																																											
A	無形民俗文化財の継承団体数	団体	16	13	13	13	16																																																											
B	奥会津博物館入館者数	人	4,089	※3,000	2,629	5,000	8,000																																																											
C																																																																		
D																																																																		
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																															
A	③ ほぼ目標値どおり 後継者不足が懸念される状況は継続しているが、伝統芸能活性化実行委員会での働きかけにより、現状維持できている。	④ 達成は困難	現在の活動を継続していくことを目標としているが、後継者不足により活動を休止した団体が出てしまった。																																																															
B	④ 下回った 新型コロナ感染拡大に伴う入館者減少及び緊急事態宣言による開館日数減。	③ 取組改善で達成可能	実施可能な見学方法の模索や体験メニューを充実させ、年間を通しての施設利用を図る。																																																															
C																																																																		
D																																																																		
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか？</p>	<p>・伝統芸能活性化実行委員会において、民俗芸能継承団体の相互の情報交換や、助成事業等を実施した。 ・文化財保護審議会により、新たな町文化財指定物件調査や既存指定物件の保存状態等の確認を行った。</p>																																																																	
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有    <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・文化財保護審議会での意見の交換や、文化財パトロールにおいて所有者や地区住民から様々な意見をいただきながら、事業遂行の参考としている。 ・奥会津博物館で実施する講座や体験事業は、地域伝統文化の継承も目的としている。講座生へのアンケートや協力者との協議を行い、事業内容や開催日程の調整などに反映させた。</p>																																																																	

**【施策の振り返り】**

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民俗芸能継承団体相互の情報交換の場の提供、保存整備事業補助金制度等により、保存継承への取組を支援し、意識の高揚を図った。</li> <li>奥会津博物館事業について、全般に参加しやすい内容とし、藍染関連の講座や体験事業の運営を伝承団体の協力を得ながら行い、内容の充実を図った。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民俗芸能継承に向け、後継者の獲得が急務である。</li> <li>奥会津博物館の事業の充実と継続には担当職員や技術指導者等の人材の確保が必要であり、また事業や研究成果について効果的なPR方法の検討が必要。</li> </ul>
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有    <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>本施策については専門的な内容であり、効率性ではなく確実な歴史文化の保存伝承や啓蒙啓発活動が求められるため、人材の確保や正確な情報収集と情報発信に努める。</p>

**【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】**

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>コロナ禍により、伝統芸能の発表の機会が無く、奥会津博物館への来場者も減少してしまうなど、目標には届かない事業内容となってしまった。この雰囲気が定着することの無いよう、伝統芸能活性化実行委員会の充実や奥会津博物館の情報PRについて、効果的な実行可能な方策の検討を進める。</p>
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和3年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額
01	奥会津文化財等 研究員設置事業	奥会津博物 館	目的	地域に存する文化財等の調査、研究事業を推進するため。		
			概要	奥会津博物館に2名の研究員を配置し南会津地域の調査研究を実施した。		
			成果	郷土に関する歴史・民俗の調査・研究成果を分かりやすく発信するため、企画展を開催した。		
		事業係	問題	令和2年度で終了。(会計年度任用職員となり職名も文化財専門員となった)		
			対策	③廃止 会計年度任用職員として1名採用した。		
			事業費	7,351	7,297	0
02	奥会津博物館所 蔵資料保存活用 事業	奥会津博物 館	目的	調査研究の成果や所蔵資料を活用し、歴史講座や企画展を実施することで、地域の歴史と文化、伝統に対する理解を深めるため。		
			概要	所蔵資料の活用を図るための整理・保存業務と初心者向けの歴史講座を実施した。		
			成果	調査研究成果を町民に発信できる機会となった。		
		事業係	問題	担当できる人員に限りがあるため、事業展開の拡がりに限界がある。		
			対策	①継続 各種体験事業と組合わせた企画を充実させ、利用者の増加につなげる。		
			事業費	563	1,113	1,039
03	伝統技法(藍染) の継承事業	奥会津博物 館	目的	当地域に伝わる伝統的な藍染技法の保存継承を図るため。		
			概要	藍染講座を年20回開催し、藍染技法の継承を図った。		
			成果	受講者には、経験値に応じより高い技術習得に挑戦していただく事で、技術の向上につなげた。		
		事業係	問題	今後、技術指導者の減少により、事業の継続が難しくなることが予想される。		
			対策	①継続 経験年数の多い受講者を対象に、技術指導後継者の育成を重点的に行う。		
			事業費	955	575	1,075
04	旧南会津郡役所 管理運営事業	奥会津博物 館	目的	福島県指定重要文化財である旧南会津郡役所を広く一般に公開し保存管理するため。		
			概要	「西町区」を指定管理者として、管理運営を委託した。		
			成果	概ね計画通りの管理運営ができています。		
		事業係	問題	建物の老朽化のため、毎年修繕の必要な箇所がある。今後継続可能な施設管理体制を整える必要がある。		
			対策	①継続 計画的な修繕計画と、早期の管理運営計画の整備が必要。		
			事業費	2,876	2,742	3,026
05	指定文化財保存 活用事業	生涯学習課	目的	貴重な文化財を適切に保存管理し後世に継承するため。		
			概要	令和2年度は、馬宿の茅葺屋根及び土壁の修繕事業を行った。		
			成果	国指定となっている貴重な文化財の保護と活用が図られた。		
		文化財係	問題	茅葺職人の担い手の減少、修繕のための財源の確保が課題となっている。		
			対策	①継続 地元企業連携した茅葺職人の育成により、良好な文化財の保存を進め継続した有効活用を図る。		
			事業費	16,507	4,710	9,920
06	駒止湿原保存事 業	生涯学習課	目的	国指定天然記念物駒止湿原の現在の自然環境を将来にわたって適切に保存・管理するとともに、環境学習や観光資源として活用するため。		
			概要	入山者による盗掘や踏込の防止と生態系保全のため監視活動を実施し、さらにニホンジカによる食害対策として設置した防鹿柵の維持管理や効果の検証を行った。		
			成果	定期的に継続して行った湿原内の監視活動や看板による周知により、入山者のマナー向上が図られた。さらに防鹿柵設置によりニホンジカによる食害が減少した。		
		文化財係	問題	防鹿柵について一定の効果はみられたが、イノシシによるミズバショウの食害が増加している。さらに木道の修繕も課題となっている。		
			対策	①継続 管理面を含めた検証から、継続可能かつ有効な防鹿柵とするため改善を図り、イノシシ対策についても有識者から意見をいただき対応を検討する。また、新ルートの整備を含め、計画的な木道修繕を行う。		
			事業費	5,312	3,370	3,878
07	地域伝統文化総 合活性化事業	生涯学習課	目的	伝統芸能の保存伝承を図り後世に継承するため。		
			概要	南会津町伝統芸能活性化実行委員会を開催し、町内伝統芸能団体の情報共有を図った。		
			成果	町内民俗芸能団体の情報交換の場を持ったほか、保存整備事業補助金制度用具更新の支援を行った。		
		文化財係	問題	指導者・継承者の高齢化、継承者の減少が課題となっている。		
			対策	組織運営に係る財政支援等を継続しつつ、記録保存の実施に向けて検討を行う。		
			事業費	940	520	367
08	前沢曲家集落保 存対策事業	生涯学習課	目的	国選定重要伝統的建造物群保存地区である前沢曲家集落の保存対策を行い後世に継承するため。		
			概要	保存計画に基づき修繕等に対する補助を実施するとともに防災対策計画を策定した。		
			成果	計画に基づき茅葺き屋根の修繕をすることができた。また防災対策(自動火災報知器設置)の実施設計を完了することができた。		
		文化財係	問題	茅葺き屋根の修繕には多額の費用がかかるため、財源の確保が課題となっている。		
			対策	①継続 計画的な修繕を進めるとともに、自主財源の確保を図る。		
			事業費	28,027	28,179	41,220

09	田島祇園祭屋台歌舞伎保存事業	生涯学習課	目的	本町の代表的な伝統芸能である田島祇園祭屋台歌舞伎の保存伝承するため。			
			概要	田島祇園祭屋台歌舞伎保存会による公演の実施と保存伝承活動に対する補助を行った。			
			成果	田島祇園祭での屋台上演は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施となったが、田島小学校3年生の「総合の学習」で歌舞伎の授業を行い、成果発表として、保存会と小学校の合同で12月に公演を開催した。			
		芸術文化係	問題	少子化により、役者の担い手である子どもの人数が減っている。			
			対策	①継続 田島小学校のみではなく、他の小学校でも歌舞伎ワークショップを実施し、日本の伝統芸能である歌舞伎の楽しさを体験してもらい、子供歌舞伎役者の増加を図る。			
			事業費	17,457	5,142	12,000	12,000
			目的				
10			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			目的				
11			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			目的				
12			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			目的				
13			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			目的				
14			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			目的				
15			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			目的				
16			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			目的				
事業費の合計(千円)			79,988	53,648	72,525	60,100	